

団体追い抜きに続き二冠

ゴールに向かって力走する高木菜那(右から2人目)。

金メダルを獲得した=24日、韓国・江陵

【平昌共同】平昌(ピョンチャン) 冬季五輪第16日の24日、スピードスケートの女子マススタートで高木菜那(たかぎ・なな)(25)=日本電産サンキョー=が優勝し、21日の団体追い抜きに続く金メダルを獲得した。日本の女子が同一大会で「金」2個を手にするのは、夏季五輪を含めて初めて。日本の金メダルは今大会4個目で、冬季通算14個目。大勢が一斉に滑るマススタートは、今大会で採用された新種目。高木菜は時年の世界距離別選手権でこの種目2位に入った。カーリング女子3位決定戦でLS北見の日本が英国を破り、この競技で男女を通じて初メダルとなる「銅」を獲得した。日本のメダルは今大会13個目。女子は1998年長野五輪から6大会連続で出場し、長野と前回ソチ五輪の5位が最高だった。

0.810081 お申し込みは

SOON 月間 250円・第

平昌冬季五輪

下野新聞社 電話 028-625-1111 郵便振替口座 00180-1-623433 ◎下野新聞社2018

編集局 028-625-1121 販 売 028-625-1120(販売) 事業局 028-625-1134(事業・教育) 営業局 028-625-1133(広告)

PC・スマホ・携帯でも 下野新聞

下野新聞社ホームページ http://www.shimotsuke.co.jp/